

2024年 1月26日

学位論文審査並びに最終試験結果報告書

大学院歯学研究科長 殿

主査 高橋 伸彦

副査 長澤 敏行

副査 佐藤 惇



今般 岡田 裕吉氏 にかかわる学位論文審査並びに最終試験を行い下記の結果を得たので報告する。

記


- 1 学位論文題目 *GPR141*遺伝子と歯周炎の関連に対する喫煙の影響
- 2 論文要旨 別添
- 3 学位論文審査の要旨 別添 (様式第12号)
- 4 最終試験の要旨 別添 (様式第13号)

以上の結果 岡田 裕吉氏 は博士 (歯学) の学位を授与する資格のあるものと判定する。

学位論文審査の要旨

主査 高橋 伸彦 

副査 長澤 敏行 

副査 佐藤 惇 

氏 名 岡 田 裕 吉

学位論文題目 *GPR141* 遺伝子と歯周炎の関連に対する喫煙の影響

以下本文（15行目から1000字以内）

歯周病はまさに国民病とも言うべき疾患であり、その病態の解明が求められている。本研究は申請者の教室で発見された歯周病に関する遺伝子多型について、基礎および臨床的検討を深め、その意義の一端を示したものである。これから詳細を詰めなくてはならない部分は残っているが、本研究で得られた知見は、今後の研究の発展につながるもので、まさにその端緒を切り開いた重要な研究といえる。

論文においては多岐にわたる内容を丁寧に記載している。論旨展開などについていくつかの改訂を経て、最終原稿は学位論文としての要件を十分に満たすものとなった。

最終試験（学力の確認）の要旨

主査 高橋 伸彦



副査 長澤 敏行



副査 佐藤 惇



氏 名 岡 田 裕 吉

以下本文（10行目から200字以内）

本研究は申請者の教室で得られた歯周病に関する遺伝子多型について、臨床的検討および基礎的検討を深め、その意義の一端を明らかにしたものである。最終試験では、主査および副査より研究の詳細や論文の改定方針について議論した。申請者はいずれの質問にも的確に答えており、見識も十分に備わっていることを確認したため、学位取得に向けての学力は満たしているものと判断した。